

2018年11月5日

生活芸術

ニュースリリース

空き家から空き家へ放浪してきた芸術家夫婦によるコラージュ作品展が有楽町マルイで開催。



概要：

理想の生活を作品にするために、ヨーロッパとアフリカの五か国に暮らし、国内の空き家を転々としながらアートを制作してきた芸術家夫婦のアートユニット檻之汰鷺（おりのたわし）による個展が、よしもとアートエンタテインメント、北茨城市の協力のもと有楽町マルイで開催。

タイトル：「生活芸術商売」展 by 檻之汰鷺(おりのたわし)

日時：2018年12月1日（土）～12月9日（日）11：00～21：00
（日・祝は10：30～20：30）

場所：有楽町マルイ 8F（東京都千代田区有楽町2丁目7-1）

協力：よしもとアートエンタテインメント、北茨城市

檻之汰鷺（おりのたわし）

石渡ノリオ・チフミによるアートユニット。結婚を機にアート活動をはじめ、2013年よりアートとは何か、生きるとは何かを追い求めて、ヨーロッパとアフリカの5か国に2か月ずつ暮らしながら各地で作品を発表。旅のなかで、生活環境が作品に影響を与えていることを発見し、理想の生活づくりのために約3年間、空き家から空き家へと引越しを繰り返し、海の暮らし、山の暮らし、消えていく日本人の暮らしを調査。現在、海と山のある北茨城市の古民家を拠点に活動している。ヨーロッパとアフリカの旅は「生きるための芸術」として出版。

檻之汰鷺は紙を切って貼るコラージュ技法からスタートし、紙だけでなく、身の回りのモノ、廃棄物、歴史、文化、人との出会い、民俗、地域、生活、自然、古民家再生までも材料や題材にして発表してきた。

本展は、有楽町マルイで開催されることから「商い」と「アート」をコラージュさせたインスタレーション・ショップを出現させる。絵画、立体、筏、服、石、木など、理想の環境で制作された「自然・生活・アート」を貫く作品群を展示。2冊目となる新著「漂流夫婦、空き家暮らしで野生に帰る」も先行発売予定。

www.orinotawashi.com

コメント：

おかけんた（漫才師、アートプランナー／よしもとクリエイティブ・エージェンシー）

今私は、檻之汰鷺さんの作品が欲しくてたまらない。国内外の様々な土地で人の優しさに触れたり、わけのわからん病気で地獄を見たり。そんな想像不可能な日常をぶつけた作品だからこそ、強さとおおらかさが伝わってくる。さあ、皆さんも作品の前に立ち、出掛けましょう。いざ、大スペクタな旅へ！

【本リリースに関する問い合わせ】

檻之汰鷺（おりのたわし）／石渡ノリオ

TEL：070-6514-5912

mail：norioishiwata@gmail.com